



平成28年9月20日(火) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
里川振興課 (水産振興室)	水産係	後藤 功一	内線 2912 直通 058-272-8293 FAX 058-278-2695

岐阜県魚苗センター拡充施設の起工式について

近年、冷水病^{*1}の発生などにより、県河川漁業の最重要魚種であるアユの漁獲量が減少しているため、その漁獲量を回復させることを目的として、県魚苗センターにおいて、冷水病菌を持たない放流用種苗(稚アユ)の生産能力を増強する整備事業を進めています。このたび、下記のとおり拡充施設の起工式を行います。

記

1 起工式の概要

- (1) 開催日時 平成28年9月28日(水) 午前10時～11時 ※雨天決行
- (2) 会場 事業予定地(美濃市生櫛1486-4) (別紙、会場位置図参照)
※(一財)岐阜県魚苗センター美濃事業所の南側に隣接する県有地
- (3) 出席者 県関係(知事、岐阜県議会議長、農林委員長、内水面漁場管理委員)、
(予定) (一財)岐阜県魚苗センター代表理事、漁業関係者(岐阜県漁業協同組合連合会、各漁業協同組合)、地元関係者、施工業者 ほか 約70名

2 県魚苗センター整備事業の概要

(1) 事業の内容等

①「美濃事業所」の整備について

放流用アユ種苗の生産量を増やすため、卵からふ化したアユを育てる施設(種苗生産施設:稚アユ12トン/年)を、事業所の南側に隣接する県有地に増設。

敷地面積: 3, 528 m²、延床面積: 1, 847 m²

棟名	構造	延床面積	設備等 ^{*2}
飼育棟	鉄骨1階建	1,658.24 m ²	飼育水槽(12面)、出荷水槽(2面)
機械棟	鉄骨1階建	118.80 m ²	吸気ブロー(3基)、温水ボイラ(2基)、自家発電機(1基)
飼料庫	鉄骨1階建	69.96 m ²	
計		1,847.00 m ²	

<参考> 美濃事業所(美濃市生櫛1486-4)の現況>

敷地面積: 9, 235 m²(延床面積: 5, 227 m²/13棟)、飼育池数: 42面

②「関事業所」の整備について

良質な放流用アユ種苗を安定的に生産するため、冷水病菌を持たない稚アユ^{しんぎょ}を親魚に育て採卵する施設（親魚養成施設：2万尾／年）を、事業所敷地内に新設。

敷地面積：1,610 m²、延床面積：923 m²

棟名	構造	延床面積	設備等*2
親魚養成棟	鉄骨1階建	874.78 m ²	飼育水槽（8面）、選別水槽（2面）、採卵水槽（2面）
機械棟	鉄骨2階建	48.60 m ²	吸気ブロー（2基）、加圧給水ポンプ（1基）、自家発電機（1基）
計		923.38 m ²	

<参考> 関事業所（関市戸田竹島74）の現況>

敷地面積：11,805 m²（延床面積：6,085 m²／5棟）、飼育池数：47面

（2）総事業費

約1,130百万円

（3）事業スケジュール

平成27年度 実施設計

平成28年度 土木工事（平成28年7月～平成29年3月）

建屋工事（平成28年9月～平成29年3月）

平成29年度 機械設備工事、電気設備工事

平成30年度 新施設稼働

*1 アユの冷水病

冷水病菌 (*Flavobacterium psychrophilum*) によって起こる細菌病で、致死性の感染症。

5月～7月に発生しやすく、症状としては吻部の出血、欠損、体表にえぐれたような穴ができる場合がある。アユにおいて大量死が起きることが多く、全国的な問題となっている。

*2 設備等の説明

飼育水槽・・・卵からふ化したアユ等を飼育する水槽。

選別水槽・・・アユの雌雄等の選別を行う水槽。

採卵水槽・・・人工授精を行うための水槽。

出荷水槽・・・出荷するアユ種苗を入れる水槽。

【参考：起工式 会場位置図】

